

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	港湾漁港	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-01-13		氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策のアピールポイント	漁業・耐火煉瓦関連など備前市特有の産業に貢献している。
---------------	-----------------------------

この施策の平成24年度の施政方針	「高潮対策事業については、引続き日生地区の早期完成と片上地区の事業採択に向け、それぞれ県に対し要望してまいります。また、漁港については、頭島漁港の沖防波堤の早期完成を引続き県に要望してまいります。」
------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	漁業関係者、港湾利用者が安全で利用しやすいように、また市民が憩える安らぎ空間として	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前市には、県管理港湾(片上、日生、中日生地区)及び市管理港湾(久々井、寒河、鴻島)がある。片上地区については、航行の安全を図るため航路浚渫の必要があり、日生地区については、放置艇などの係留施設の整備が必要であると同時に、台風時における避難場所の確保や防波堤の建設、観光港としての施設を充実するとともに、市民や観光客も憩える安らぎ空間としての周辺整備を県に要望していく必要がある。市管理港湾については、港の自然特性に合わせた整備が重要で、漁港については、県により年次的に整備が行われているが今後は、背後地について関係機関と協議を進めていく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 港湾機能の充実を図るための港湾整備、維持補修の要望 中日生地区における、観光港・交通結節点としての施設整備充実 市管理港湾施設の維持補修の継続 漁港については、離島住民や観光客のための施設整備、維持補修の促進 	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23	H24			H25	H28
成果指標	県工事実施率	目標	%	90.0	80.0	80.0	県工事実施箇所/県工事要望箇所	H25	80.0
		実績	%	40.0	63.6	100.0		H28	100.0
		達成率	%	44.4	79.5	125.0		-	-
		ベンチマーク						要望件数3/3ヶ所	-
参考指標	小型船舶係留施設利用割合	目標	%	90.0	90.0	90.0	係留施設利用件数/係留施設区画数	H25	90
		実績	%	97.8	52.3	53.0		H28	100
		達成率	%	108.7	58.1	58.9		-	-
		ベンチマーク						施設利用143区画 係留施設273区画	-
参考指標		目標						H25	
		実績						H28	
		達成率	%					-	-
		ベンチマーク						-	-
参考指標		目標						H25	
		実績						H28	
		達成率	%					-	-
		ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

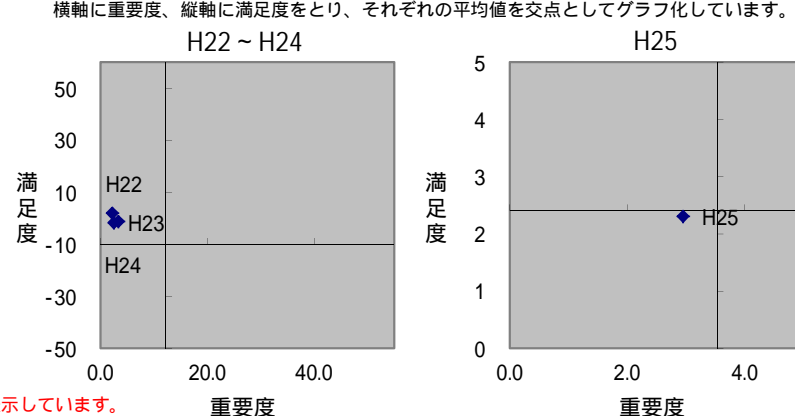
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	港湾・漁港施設整備並びに維持管理	市域の港湾区域のほとんどが県管理港湾であるため、県との連携を強めることにより施設整備、維持管理の促進が図れる。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	県工事の実施状況を顕す指標として、要望に対する実施率は妥当。係留施設の利用割合は管理運営上の指標として有効。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね適当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	要望箇所の整備は国・県の予算配分に依存するため、要望どおりの整備にならない場合が多いが、引き続き強力で要望していく。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)	高潮対策事業について、日生地区では事業が進行中であり、片上地区においても今年度から着手されている。今後も早期完成を目指し県への要望や地元調整に努める。		
翌年度(H26年度)の取組目標	高潮対策事業について、引き続き日生、片上両地区の事業の早期完成を目指し県への要望や地元調整に努める。		
二次評価者コメント	安全・安心の観点から早期の高潮対策と施設整備が必要である。海岸保全施設整備事業については、22年度に日生地区が事業採択されており、引き続き片上地区の事業採択へ向け県・国への要望活動を展開してください。		基本施策への貢献度
役職 産業部長 氏名 高橋 昌弘			4 やや高い

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	2.2	2.5	3.3	3.0
満足度(%)	2.1	-1.7	-1.1	2.3



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	利用者が限定されることから、重要度の数値が低いと思われるが、地場産業や観光客、市民の利用からも引き続き整備が必要。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

